

（※審査における必須形質）

	形 質	定 義	計 測 法	状態または区分	階 級	標 準 品 種 名
※ 1	春の草勢	春期の草量	観察による評点 （調査時期積雪地では）融雪 後2週間後	極不良 不 良 中 良 良 良 極 良	1 3 5 7 9	
2	秋の草勢	秋期の草量	観察による評点 調査時期：10月上旬～下旬	極不良 不 良 中 良 良 良 極 良	1 3 5 7 9	3. センボク 5. ノサップ 7. ホクシュウ
※ 3	出穂期	個体の出穂始日の平均	観察、月日表示とする。	極早生 早 生 中 生 晩 生 極 晩 生	1 3 5 7 9	3. センボク 4. ノサップ 5. (Climax) 7. ホクシュウ
※ 4	草 型	株の外周を形成する茎が地表 と作る角度の大小	観察による評点	直 立 中 間 ほ ぶ く	1 3 5 7 9	2. センボク、ノサップ 7. ホクシュウ
※ 5	穂 数	出穂茎の多少	観察による評点	極少 少 中 中 多 多 極	1 3 5 7 9	7. ホクシュウ
※ 6	出穂茎率	総茎数に対する出穂茎数の比 率	観察による評点	極低 低 中 中 高 高 極	1 3 5 7 9	5. ホクシュウ 7. センボク、ノサップ

	形 質	定 義	計 測 法	状態または区分	階 級	標 準 品 種 名
※ 7	稈 長	地際より穂首までの高さ	測定、cm単位 調査時期：1番草穂揃前後1 ～2週間の間に測定する。	極低 低 中 中 高 高 極	1 3 5 7 9	
8	茎の太さ	出穂茎の太さ	観察による評点	極細 細 中 中 太 太 極	1 3 5 7 9	5. センボク、ノサップ
※ 9	穂 長	穂首より先端までの長さ	測定、cm単位	極短 短 中 中 長 長 極	1 3 5 7 9	3. 北海道在来種 6. センボク、ノサップ、ホクシュウ
10	穂の太さ	円筒状穂の最大直径	観察による評点	極細 細 中 中 太 太 極	1 3 5 7 9	
11	草冠の直径	草冠の最大直径	測定、cm単位 調査時期：穂孕期前後	極狭 狭 中 中 広 広 極	1 3 5 7 9	
※ 12	着葉角度	茎と止葉の着葉角又は全葉の 着葉角	観察による評点	極狭 狭 中 中 広 広 極	1 3 5 7 9	
※ 13	葉身長	止葉の下第1葉の葉身長	測定、cm	極短 短 中 中 長 長 極	1 3 5 7 9	3. センボク 7. ノサップ

	形 質	定 義	計 測 法	状態または区分	階 級	標 準 品 種 名
※ 14	葉 巾	止葉の下第 1 葉の葉幅	葉身の最大巾を測定、mm 単位	極 狭 狭 中 広 極 広	1 3 5 7 9	3. (ノースランド) 5. センボク、ノサップ 9. Labelle
15	葉 色	葉身の緑度	観察による評点	極 淡 緑 淡 緑 濃 緑 極 濃 緑	1 3 5 7 9	
16	茎節着色	伸長茎節の紫着色	観察による評点	無 色 中 間 極 濃	1 3 5 7 9	
17	再 生	2 番草以降各番草の再生程度	観察による評点	極 不 良 不 良 中 良 良 極 良	1 3 5 7 9	2. 北海道在来種 5. センボク 6. 北 王 7. ホクシュウ 8. ノサップ
18	播種当年の出穂性	出穂茎の多少	観察による評点	無又は極少 少 中 多 極 多	1 3 5 7 9	2. (ノースランド) 5. センボク
19	再生茎出穂程度	2 番草における出穂基率の程度	観察による評点	無又は極少 少 中 多 極 多	1 3 5 7 9	1. ホクシュウ 5. センボク、ノサップ
20	1,000 粒重	純種子 1,000 粒の重量	測定、mg 単位	極 軽 軽 中 重 極 重	1 3 5 7 9	3. ホクシュウ 7. ノサップ、センボク

	形 質	定 義	計 測 法	状態または区分	階 級	標 準 品 種 名
21	種子形状	種子の外観形状	観察による分類	球 形 中 間 極 長 形	1 3 5 7 9	
※ 22	越冬性	越冬直後の生存状態	観察による評点 調査時期：融雪後 2 週間頃	極 不 良 不 良 中 良 良 極 良	1 3 5 7 9	4. (ノースランド) 5. ホクシュウ 8. センボク、ノサップ
※ 23	斑点病抵抗性	<i>Cladosporium phlei</i> (Greg.) de Vries. による罹病程度から 判定する抵抗性の強弱	全植物体(葉)の観察評点	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	3. (ノースランド) 5. センボク、ホクシュウ 7. ノサップ
※ 24	条葉枯病抵抗性	<i>Scolecotrichum graminis</i> Fckl. による罹病程度から判 定する抵抗性の強弱	全植物体(葉)の観察評点	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	
※ 25	黒さび病抵抗性	<i>Puccinia graminis</i> f. sp. <i>phlei pratensis</i> (Eriks.) Stakman et Piemeisal. による 罹病程度から判定する抵抗 性の強弱	全植物体の観察評点 調査時期：播種当年の夏～秋 期	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	1. 北海道在来種 4. センボク、北王 5. (Climax) 7. ノサップ 8. ホクシュウ
※ 26	がまのは病抵抗性	<i>Epichloë typhina</i> (Pers. ex Fr.) Tul. による罹病程度から 判定する抵抗性の強弱	全植物体(茎)の観察評点	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	
※ 27	雪腐大粒菌核病抵抗 性	<i>Sclerotinia borealis</i> Bub. et Vleug. による罹病程度から 判定する抵抗性の強弱	全植物体の観察評点 調査時期：融雪直後	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	

	形 質	定 義	計 測 法	状態または区分	階 級	標 準 品 種 名
28	白かび病抵抗性	<i>Ramularia pusilla</i> Unger による罹病程度から判定する 抵抗性の強弱	全植物体（葉）の観察評点	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	
29	赤葉枯病抵抗性	<i>Rhynchosporina meinersii</i> (Sprague) v. Arx による罹 病程度から判定する抵抗性の 強弱	全植物体（葉）の観察評点	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	